

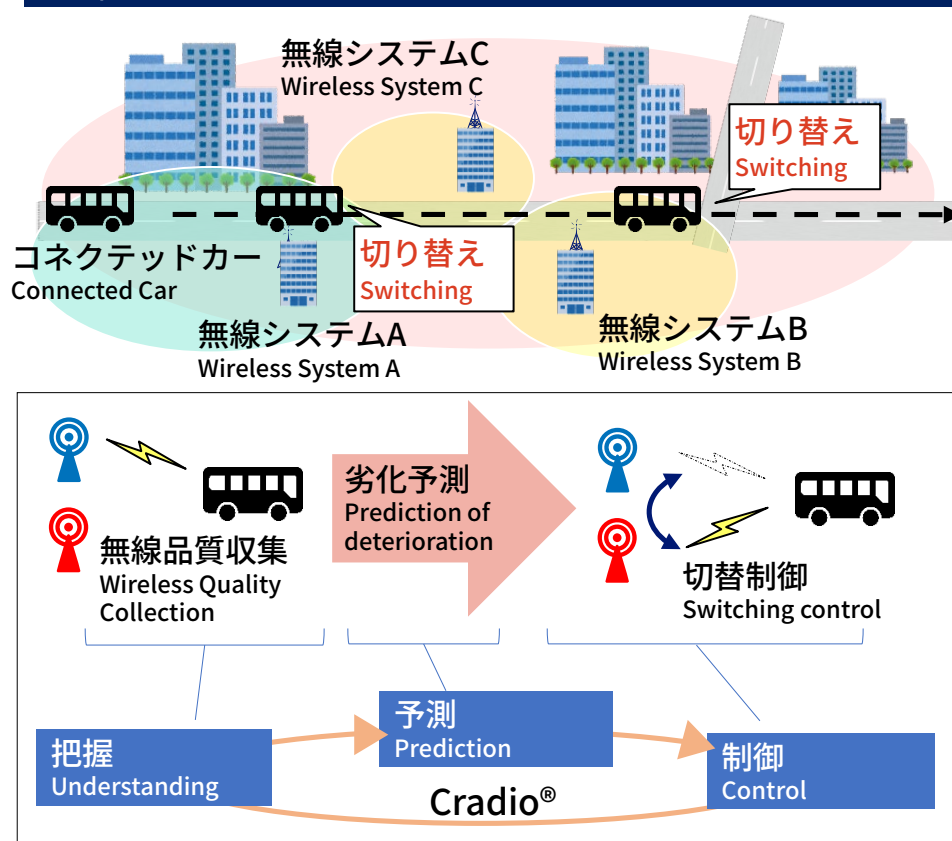
快適に繋がり続ける無線を実現するCradio®技術

ネットワーク事業者が、統合的な無線制御により、自動運転などの先進ユースケース実現に貢献します

#顧客体験価値向上 #業務効率化

複数無線を組合せた繋がり続けるネットワークの提供例

Example of providing a network that keeps you connected by combining multiple radios



///技術課題

実運用ネットワークは、異なるベンダの装置や、無線と光を組合せて利用されていますが、インターフェースや特性の違いを考慮した統合的な設計・制御ができていません。

///研究目標

品質予測を含めた統合設計・制御により、無線を活用するソリューションビジネスの高品質化・低コスト化による利益増に貢献します。

---要素技術

- 複数の無線方式を考慮し、多様な次元での最適設計をスキルレスで行う無線設計導出アルゴリズム
- リアルタイムな無線環境変化の把握と、これを利用した場所ごとの特性を紙した精緻な無線品質予測技術

---市中技術差異点

把握・予測・制御の要素技術を協調させることにより繋がり続ける無線の提供を実現。さらに無線設計運用現場の実態に合わせたマルチベンダ装置対応・マルチシステム対応・マルチテナント化により、各要素バラバラでは実現が難しい無線設計運用業務のワンストップ化・スキルレス化を実現。

---適用ビジネス

自営と公衆無線を用いた無線活用統合ソリューション事業において、ドローンなどの遠隔操作、自動車自動運転などを含む無線通信を用いた産業DXユースケースの拡大進化に活用（サービス提供時期：マルチベンダ対応の設計・制御・予測技術は一部商用導入済み。自動運転に対応する予測技術高度化などは2026年度3Q頃）